




第24期 株主通信

2020年4月1日～2021年3月31日

 ジャパンマテリアル株式会社

証券コード：6055

ごあいさつ

Greeting

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社グループ第24期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。

おかげさまで、第24期の連結売上高は352億47百万円、営業利益は87億58百万円となり、8期連続増益、最高益更新と右肩上がりの成長を遂げております。これもひとえに株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

最先端技術を有する半導体・液晶工場を支える技術者集団として、世界に誇る半導体・液晶の国際競争力向上に向けてこれまで以上にお役に立てる存在になりたいと思っております。

皆様のご期待に沿えるよう、これからも邁進してまいります。



代表取締役社長 田中久男

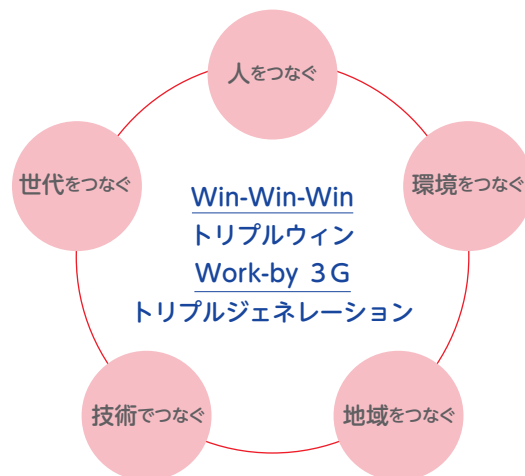
■経営ビジョン

Win-Win-Win(トリプルウィン)

Work-by 3G(トリプルジェネレーション)

■特徴

- ・当社は、「安全最優先」「お客様は良きパートナー」「お取引先と地域の皆様は良きサポーター」「社員は家族」を企業理念とし、安全・安心を基軸とした「安全最優先」の意識のもと、お客様の期待を超える質の高い商品やサービスを提供しております。
- ・半導体及び液晶関連工場向けにインフラ設備事業を展開しているエレクトロニクス関連事業、画像・映像・放送に関わる画像処理製品の販売・保守を行うグラフィックスソリューション事業を2大柱として事業を展開しております。



ジャパンマテリアルは、お客様・お取引先と地域の皆様・社員の3者に利益をもたらす「Win-Win-Win」、18歳～70歳代の3世代が働ける「Work-by 3G」を掲げ、更なる成長を追求していきます。

売上高

352億47百万円

前年同期比3.0%増



営業利益

87億58百万円

前年同期比8.1%増



経常利益

88億96百万円

前年同期比9.4%増



親会社株主に帰属する当期純利益

61億40百万円

前年同期比9.7%増



- イニシャル部門は、主要顧客である半導体工場において新規設備投資に一部減速感がみられたものの、設備投資は継続して実施され、概ね堅調に推移
- オペレーション部門は、半導体工場での生産活動が拡大していることから、半導体製造装置メンテナンス、超純水プラント運転管理請負業務及びメンテナンスを中心に堅調に推移

株式会社Wil(ウィル)を設立

2021年2月24日に半導体製造装置向け保守メンテナンス及び技術サポートサービスの事業拡大を図るため、技術者派遣を目的とする子会社「株式会社Wil(ウィル)」を設立いたしました。

株式会社Wilは、「Work in Local. (地元で働く)人財に特化した技術サービス」を提供する企業として、地元志向を持つ「人財」を雇用し、主に半導体製造の安定生産に寄与する技術サービス派遣事業を展開します。

当社グループは、エレクトロニクス関連事業を主力事業とし、半導体及び液晶関連工場向けに特殊ガスや超純水、薬液等に関連するインフラ事業及び半導体製造装置向け保守・メンテナンス、装置メンテナンス用部品の製造・販売事業を行っており、新たな子会社を設立することで顧客ニーズへの対応を一層充実させてまいります。

◆概要

名称：株式会社Wil

所在地：三重県三重郡菟野町永井3098番22

代表者：代表取締役社長 高木 浩

事業内容：労働者派遣事業

資本金：20百万円

設立年月日：2021年2月24日

出資比率：当社100%





当期の業績についてお聞かせください。

当社グループのエレクトロニクス関連事業において、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門は、主要顧客である半導体工場において新規設備投資に一部減速感がみられたものの、設備投資は継続して実施され、概ね堅調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門は、半導体工場での生産活動が拡大していることから、半導体製造装置メンテナンス、超純水プラント運転管理請負業務及びメンテナンスを中心に堅調に推移しました。

グラフィックスソリューション事業においては、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い展示会等が中止となるなど引き続き営業活動が制限され、また顧客のイベント開催自粛等の影響を受け機器設備、デジタルサイネージ関連製品が伸び悩みました。

太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所が稼働しております。

以上の結果、業績に関しては下記の通りとなりました。

業績ハイライト

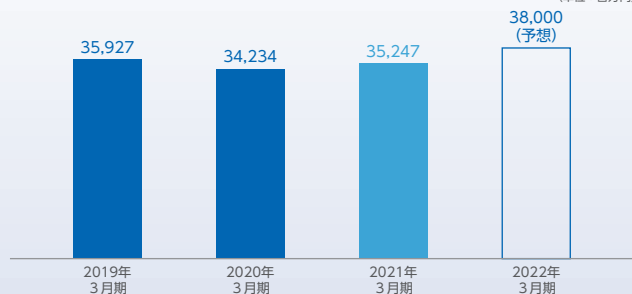
売上高

352億47百万円

前年同期比
3.0%増



(単位：百万円)



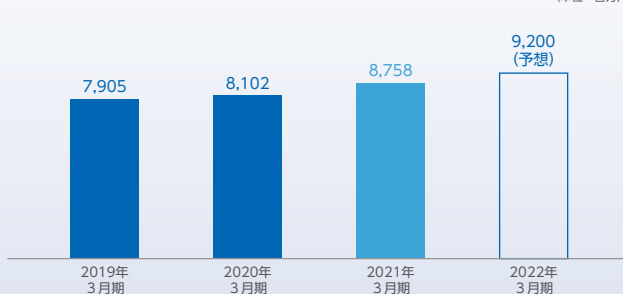
営業利益

87億58百万円

前年同期比
8.1%増



(単位：百万円)



※2022年3月期の予想は2021年5月13日現在のものです。

次期の見通しについてお聞かせください。

当社グループの属する半導体業界においては、5G（第5世代移動通信システム）など通信技術の進歩やIoT推進など、情報量増加に伴うデータセンター向けサーバー需要の拡大、またノートPCやタブレットなどテレワーク関連機器の需要の増加などが見込まれます。

このような状況の中、当社グループは主要顧客における設備投資に対するイニシャル部門、主要顧客の生産拡大に伴うオペレーション部門それぞれにおいて、顧客ニーズに応えるべく事業展開を図ってまいります。

エレクトロニクス関連事業におきましては、オペレーション部門の半導体製造装置メンテナンスにおいて、顧客からの需要に応えるべく、積極的に技術者の採用を行うとともに、当社グループ内において技術者を育成し人材を確保することで事業領域を拡大し、当社グループの強みであります「トータルファシリティマネジメント（TFM）」を活かして他社との差別化を図り、お客様の期待以上の価値を提供することで安定収益基盤の拡大を図ってまいります。また、イニシャル部門では、主要顧客における大型設備投資が継続的に実施されることが見込まれるため、積極的な営業活動を展開することで確実に受注に繋げてまいります。

一方、グラフィックスソリューション事業におきましては、デジタルサイネージ分野では商品のコンテンツ制作からシステム構築のトータルソリューションの提供を拡大してまいります。さらにパソコン関連部品であるマルチディスプレイ用グラフィックボード、放送業界向け製品など積極的な営業活動を展開することで販売拡大を図ってまいります。

ただし、変異株を中心とした新型コロナウイルス感染拡大により、経済活動への影響が長期化することが懸念されます。当社グループは政府及び自治体の方針を踏まえ、独自に感染拡大防止に努め事業活動を継続しておりますが、国内外の経済活動の更なる減速、主要顧客の設備投資の遅れ、顧客工場における稼働率の大幅な低下などにより、今後の事業活動及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

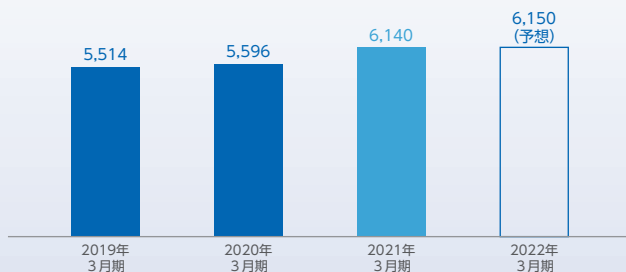
親会社株主に帰属する当期純利益

61億40百万円

前年同期比
9.7%増



(単位：百万円)



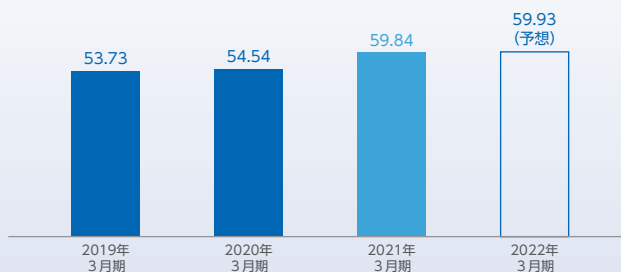
1株当たり当期純利益

59円84銭

前年同期比
9.7%増



(単位：円)



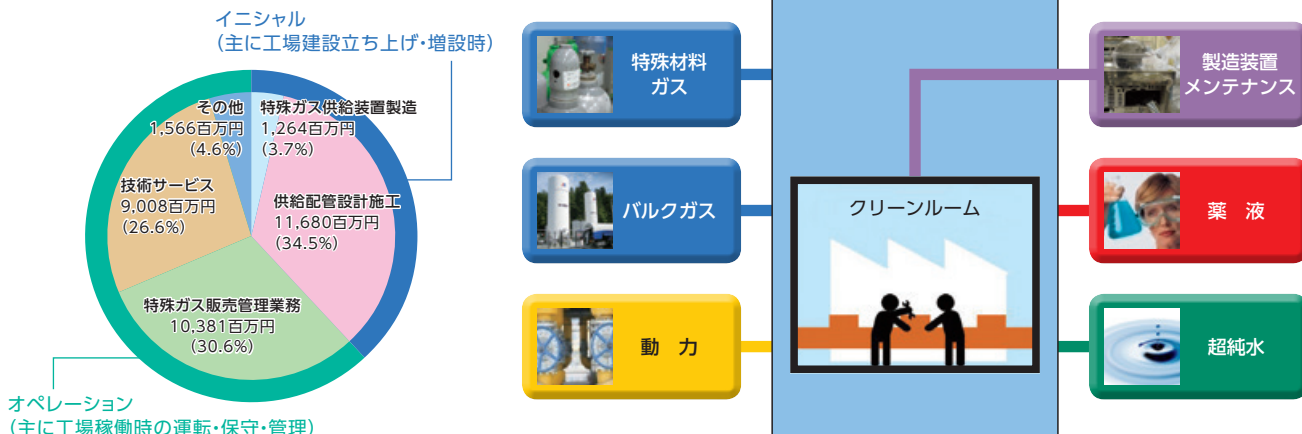
エレクトロニクス関連事業

事業内容

半導体・液晶等の製造工程で不可欠な特殊ガス、超純水、薬液等に関連するインフラ事業、動力・空調等を含めたライフライン管理を一括して請負うトータルファシリティマネジメントを中心に事業展開しております。更に顧客工場を中心部に関わる半導体製造装置の保守・メンテナンス、セカンドパーツの製造・販売等の技術サービスを提供しております。



エレクトロニクス関連事業 内訳



三重県菟野町にトレーニングセンター及び物流センターを増設

当社は、顧客の規模拡大に伴う需要増加に応えるため、ジャパンマテリアル本社工場の隣に、クリーンルーム棟及び物流センターの増設工事を行っております。新クリーンルーム棟は、空気清浄度の異なる2つのクリーンルームを設け、半導体製造装置の保守・管理を行うエンジニア及び特殊配管施工エンジニアの育成や顧客工場で使用されている製造装置のメンテナンス等を行う予定です。また隣接する物流センターでは、本社近隣に分散する倉庫を集約する予定です。

◆本社増設 概要

所在地：三重県三重郡菟野町
 用途：クリーンルーム、倉庫
 完成予定：2021年12月
 敷地面積：9,900㎡



※完成予想図(イメージ)

グラフィックスソリューション事業



グラフィックス製品

マルチディスプレイ用グラフィックボード、デジタルサイネージ関連商品等の販売・サポート、コンテンツ制作、システム構築を行っております。

小売店やレストラン、美術館・博物館、金融機関、教育機関、医療機関、アート・エキシビジョン等幅広い分野で活用されています。

放送用機器

3Dキャラクタージェネレーターやスタジオオートメーションシステム、その他各種放送に関わる製品等の販売・サポートを行っております。

放送局やポストプロダクションで採用されています。

3D CADビューアソフト

顧客の「もっと気軽に、簡単に」の声に応え、3次元データ有効活用を目的とした技術系アプリケーションを開発・販売しております。

Inter BEE 2020 ONLINEに出展

2020年11月18日～2021年2月26日に初のオンライン開催となった「Inter BEE 2020」に出展しました。当社は、ブロードキャスティング及び映像配信のリモート化、作業効率化、低コスト化を実現する多彩なソリューションをご案内しました。

◆主な出展製品

- 『Matrox VERO』 ※新製品
最新規格のST2110リファレンス信号出力や規格に準じた信号診断・調整機能をコンパクトにまとめた製品です。
- 『Matrox Monarch EDGE』
4Kリモートプロダクションやウェブキャスティングを実現し、ライブイベントやスポーツのオンライン中継をはじめ、市場を問わず様々な業種を高画質の配信でサポートする製品です。
- 『VRi KarismaCG』
内蔵された豊富な制作ツールによる高品質の3Dグラフィックスの編集や、4K/8K環境でもHDと変わらないリアルタイム送りが可能な製品です。

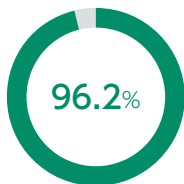


事業概況

Segment Overview

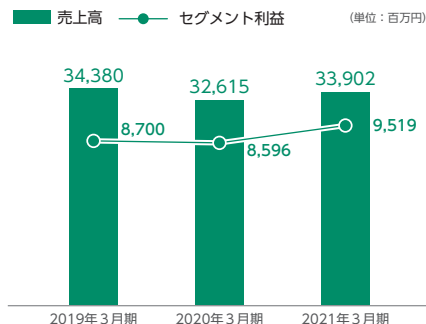
エレクトロニクス関連事業

事業別売上高比率



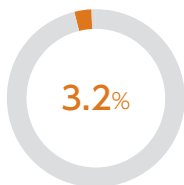
| | |
|---------|-----------------------------|
| 売上高 | 339億02百万円 (前年同期比 3.9% 増) |
| セグメント利益 | 95億19百万円 (前年同期比 10.7% 増) |

半導体製造装置メンテナンス、超純水プラント運転管理請負業務及びメンテナンスを中心に堅調に推移



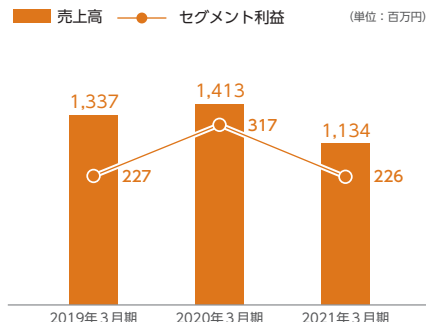
グラフィックスソリューション事業

事業別売上高比率



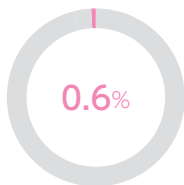
| | |
|---------|-----------------------------|
| 売上高 | 11億34百万円 (前年同期比 19.8% 減) |
| セグメント利益 | 2億26百万円 (前年同期比 28.5% 減) |

イベント開催自粛等の影響を受け機器設備及び、デジタルサイネージ関連製品が伸び悩み減少



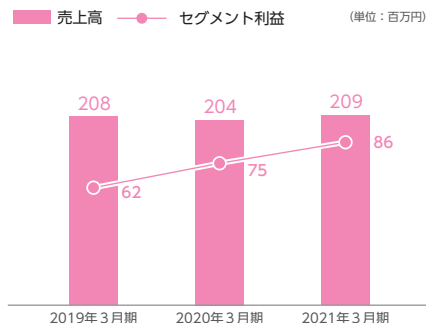
太陽光発電事業

事業別売上高比率



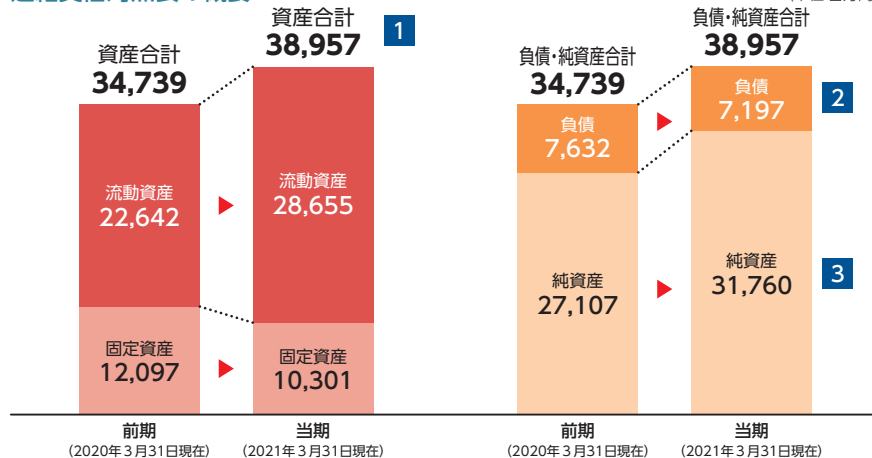
| | |
|---------|---------------------------|
| 売上高 | 2億09百万円 (前年同期比 2.4% 増) |
| セグメント利益 | 86百万円 (前年同期比 14.9% 増) |

三重県内で3か所の太陽光発電所が稼働



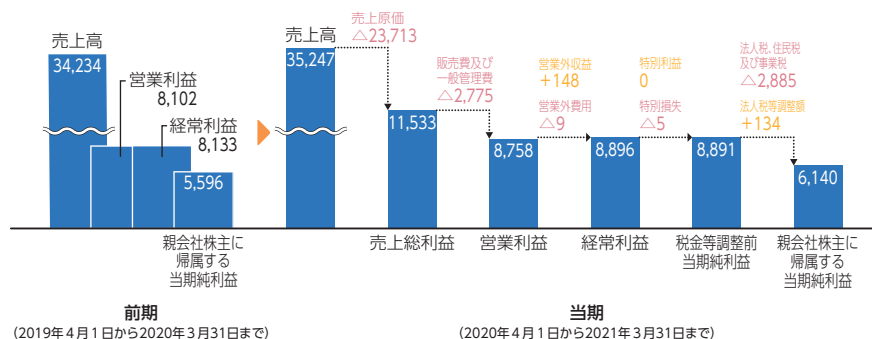
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



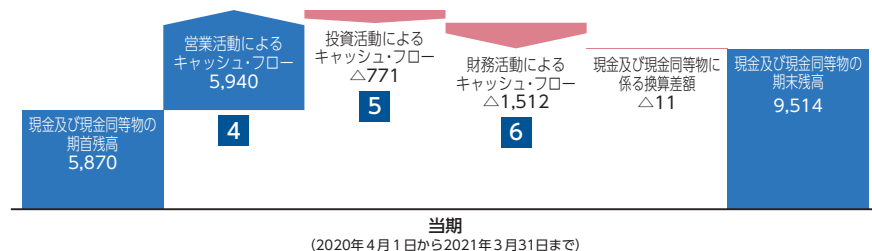
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



ポイント

1 資産合計

資産合計は389億57百万円となり、前期末と比べ42億17百万円増加しました。主に現金及び預金が増加しました。

2 負債合計

負債合計は71億97百万円となり、前期末と比べ4億35百万円減少しました。主に支払手形及び買掛金が減少しました。

3 純資産合計

純資産合計は317億60百万円となり、前期末と比べ46億52百万円増加しました。利益剰余金が増加しました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益88億91百万円、リース債権及びリース投資資産の減少12億86百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加19億43百万円、法人税等の支払額24億88百万円です。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出6億97百万円、有形固定資産の取得による支出1億6百万円です。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

支出の主な内訳は、配当金の支払額14億36百万円、短期借入金の純減額13百万円です。

会社概要 (2021年3月31日現在)

社 名：ジャパンマテリアル株式会社
 (英文社名 JAPAN MATERIAL Co.,Ltd.)
 設立年月日：1997年4月28日
 資本金：13億1,781万5,250円
 上場市場：東証一部、名証一部
 代表者：代表取締役社長 田中久男
 従業員数：(連結)1,220名、(単体)324名 ※契約社員及びパートタイマー社員含む
 本店所在地：三重県三重郡菟野町永井3098番22

関係会社 (連結・2021年3月31日現在)

| 名称 | 住所 | 資本金 (単位:百万円) | 主要な事業の内容 |
|-------------------------------------|-----------|-----------------|------------------|
| 株式会社東和商工 | 三重県四日市市 | 40 | エレクトロニクス関連事業 |
| 株式会社JMテック | 三重県三重郡菟野町 | 30 | エレクトロニクス関連事業 |
| 株式会社クスノキケミコ | 三重県四日市市 | 30 | エレクトロニクス関連事業 |
| 株式会社JMエンジニアリングサービス | 三重県三重郡菟野町 | 310 | エレクトロニクス関連事業 |
| 株式会社PEK | 大阪府堺市 | 20 | エレクトロニクス関連事業 |
| 株式会社シーセット | 東京都新宿区 | 19 | グラフィックスソリューション事業 |
| 茂泰利科技股份有限公司 | 台湾 | NTD 110,000千 | エレクトロニクス関連事業 |
| ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD | シンガポール | SGD 340千 | エレクトロニクス関連事業 |
| ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD | シンガポール | SGD 200千 | エレクトロニクス関連事業 |

関係会社 (非連結・2021年3月31日現在)

| 名称 | 住所 | 資本金 (単位:百万円) | 主要な事業の内容 |
|--------------|-----------|-----------------|------------------|
| 株式会社WiL | 三重県三重郡菟野町 | 20 | エレクトロニクス関連事業 |
| 株式会社バック・ステージ | 東京都中央区 | 5 | グラフィックスソリューション事業 |

グループネットワーク

国内
42拠点

海外
4拠点



役員 (2021年6月23日現在)

代表取締役社長 田中久男
 常務取締役執行役員 甲斐哲郎
 取締役執行役員 長谷圭祐
 取締役執行役員 坂口好則
 取締役執行役員 矢内信晴
 取締役執行役員 田中宏典
 取締役執行役員 田中智和
 取締役執行役員 竹村光司
 社外取締役 町田和彦
 社外取締役 大島次郎
 社外取締役 杉山賢一
 常勤監査役 喜多照幸
 社外監査役 春馬葉子
 社外監査役 今枝剛

執行役員 北川浩二
 執行役員 森正勝

株式情報

Stock Information

株式の状況(2021年3月31日現在)

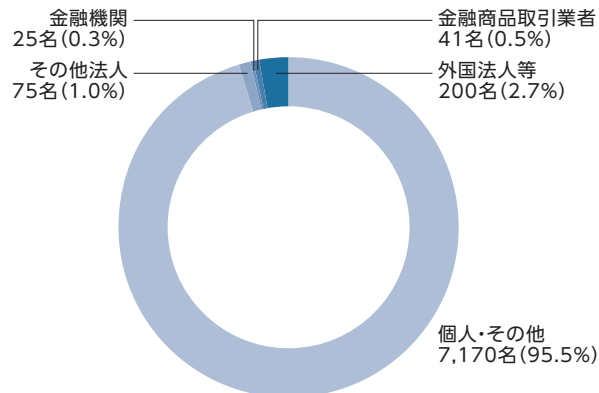
| | |
|----------|---------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 324,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 102,620,946株(自己株式2,528,574株を除く) |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主数 | 7,512名 |

大株主の状況(2021年3月31日現在)

| 株主名 | 持株数 株 | 持株比率 % |
|-------------------------|------------|-----------|
| 田中 久男 | 12,514,600 | 12.2 |
| 田中 智和 | 9,300,000 | 9.1 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 9,217,900 | 9.0 |
| 株式会社HT | 6,000,000 | 5.8 |
| T&T株式会社 | 6,000,000 | 5.8 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 5,545,400 | 5.4 |
| 喜多 照幸 | 3,024,760 | 2.9 |
| 公益財団法人ジャパンマテリアル国際奨学財団 | 2,200,000 | 2.1 |
| 株式会社百五銀行 | 2,160,000 | 2.1 |
| GOVERNMENT OF NORWAY | 2,134,800 | 2.1 |

(注)持株比率は発行済株式総数から自己株式数(2,528,574株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



IRサイトのご案内

IR情報の詳細につきましては、当社IRサイトをご覧ください。

<https://www.j-materials.jp/ir/>

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

**配当金受領
株主確定日** 3月31日(期末配当)

定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3か月以内

**株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711(通話料無料)

公告掲載方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.j-materials.jp/>

証券コード 6055

【ご注意】

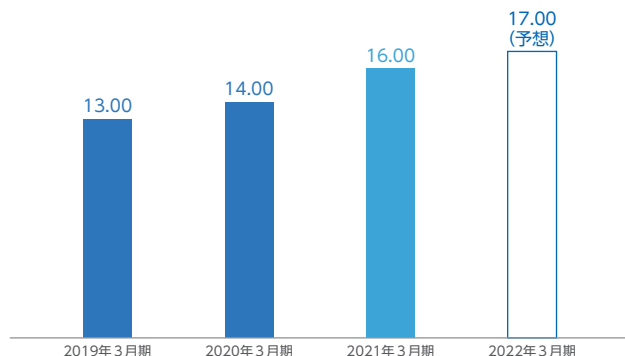
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主還元

Premium Redemption to Shareholders

配当金の推移

(単位：円)



株主優待制度

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくため株主優待制度を導入しております。

毎年9月30日現在の株主名簿に記録された当社株式1単元(100株)以上保有されている株主様を対象に下記の通りQUOカードを贈呈いたします。



| 保有株式数 | 優待内容 |
|-------------------|---------------|
| 5,000株以上 | クオカード 5,000円分 |
| 1,000株以上 5,000株未満 | クオカード 3,000円分 |
| 100株以上 1,000株未満 | クオカード 1,000円分 |

CSRニュース「新型コロナウイルス対応の三重県内医療従事者の皆様へQUOカードを寄附」

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、困難な状況におかれている皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また人々の命と健康を守るため日夜最前線で医療に従事されている方々にあらためて深い謝意を表します。

当社はCSRの一環として、三重県内で新型コロナウイルス感染症の入院患者を受け入れている24病院において、新型コロナウイルス感染症患者に対応されている約7,000名の医療従事者の皆様へ応援・感謝の気持ちを形として伝えるため、三重県病院協会を通じて応援品(QUOカード)を寄附しました。

当社グループは、お客様やお取引先様、従業員など、さまざまなステークホルダーの皆様とともに感染拡大防止に取り組んでまいりました。今後も、社会を構成する一員として引き続き感染症対策に取り組むとともに、一日も早く同感染症が終息することを心より祈念しております。



JM ジャパンマテリアル株式会社

〒510-1311 三重県三重郡菟野町永井3098番22
TEL.059-399-3821 FAX.059-399-3828
<https://www.j-materials.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。